

© Beate Frenzel, Gülşah Mavruk (2018)

新規移民生徒との初回対話用話し合いのためのガイドライン

(Japanisch – Übersetzung durch externen Anbieter)

日付： _____

I. 個人データ

氏名： _____ 年齢： _____

性別： 男 女

出身国： _____

入国日： _____

II. 従前学歴

アルファベット識字： 有 無

ABC アルファベット文字： 有 無

その他の文字： _____

文字例についてのコメント

生徒の（参照先

添付の 7 ページ)

従前の学校

期間	国	学校/学校形態

教育期間、国内と

国外：

従前学校での受講科目：

ドイツ語 年数 週当たり授業時間

算数 年数 週当たり授業時間

英語 年数 週当たり授業時間

美術 化学

歴史 政治

生物 宗教

物理 教育学

スポーツ

国内外でのその他の科目（場合によっては難民として出国前と出国中）：

個々の科目別選好/興味分野：

これまでに証明書承認がありましたか？ 有 無

その他： _____

III. 出身国における言語習慣

家庭内 _____

友人関係 _____

役所で _____

教育機関で _____

その他の言語知識 _____

IV. ドイツ語の知識

ドイツ語はどこで習得していましたか？ _____

ドイツ語授業の期間と範囲 _____

学校以外の補助育成状況 _____

連絡先の人物

V. ホビー

スポーツ

音楽

アート

手作業

地元クラブとの接触に関する興味

その他 _____

VI. 国内外での仕事の経験（場合によっては難民として出国前と出国中）：

実習経験

仕事の経験

VII. 学業及び職業的将来への希望

VIII. 連絡先の人物

氏名： _____ 電話： _____

住所： _____ メールアドレス： _____

IX. 既存の補助手段

スマートフォン、ネットアクセス

ネットアクセス可能なコンピュータ

母語の辞典

その他 _____

X. 学習地

自宅では宿題に集中できる環境がありますか?

宿題は学校で同輩とこなすほうが好きですか?

XI. 外国での学業経験

学校には好んで通っていましたか?

学校では何が気に入っていましたか?

学校では何が気に入っていませんでしたか?

XII. 話し合いの経緯に関するメモ

添付

従前の学校教育 - 生徒が既知の文字例

ドイツ語で簡単に自己紹介してください。
